野矢茂樹「バラは暗闇でも赤いか？」学習プリント２

はじめに

前時は段落の要点を捉えました。まず、解答例を見て前時の内容を確認しましょう。
本時は前時の内容を踏まえ、本文の構造を図式化して捉えましょう。

課題　次の空欄を補充して、本文の構造を理解しよう。

★第一段　問題提起

「うれしかった話」

＝

「　　A　　」　＝発見

＝

この発見がなぜうれしかったのか＝主題

★第二～六段　「色」の捉え方についての議論（①～⑤）

①第二段　物理が描く色の世界＝色は人の［　B　］である

＝

物には［　C　］はなく、世界は［　D　］

＝

人は世界から分離されている？

②第三段　常識的（直感的）な捉え方＝世界は色に［　E　］

＝

色は物の性質であり、
人の感覚の中だけにあるのではないと考えたい

＝

人と世界は結ばれているはず

③第四段　［　F　］の中では光が当たらないからバラは赤くない

色は物の性質ではない＝**やはり人は世界から分離されている？**

④第五段　色は物に光が当たりできるものである

▼例「虹」→気づき＝バラは人が見ていなくても赤い

⑤第六段　雷鳴が、空気を媒介にして世界の中で響くように、
色は物の性質でもなく、人の感覚でもない、
世界の中での［　G　］である

＝

呆然とした

★結論　うれしかった理由

＝

人は世界と色によって結ばれている